

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

二宮町教育委員会

## 1 はじめに

令和6年4月に実施された「令和6年度全国学力・学習状況調査」について、このみや学園二宮町立小・中学校の調査結果の概要をお知らせします。二宮町教育委員会では、調査結果及び課題等を公表することにより、町民の皆様をはじめ児童生徒に関わる様々な立場の方に関心をもっていただき、二宮町の学校における教育指導の充実や児童生徒の学習意欲の向上につなげていきたいと考えております。

本調査の結果は町全体のものであり、各学校や児童生徒個人の学力や学習状況を表すものではありません。また、本調査は児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面の結果です。

町民の皆様におかれましては、本調査の目的及び結果公表の趣旨をご理解いただくとともに、数値結果だけを重視するのではなく教育の過程も考慮いただき、本町の児童生徒の健全育成のために公表資料を有効にご活用くださいますようお願いいたします。

## 2 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・以上のような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査の内容

- ・教科に関する調査（国語、算数・数学）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

### (3) 実施期日

令和6年4月18日（木）

### (4) 調査を実施した児童生徒数

小学校 6年生 187人（3校合計）

中学校 3年生 179人（2校合計） ※数学については178人

### 3 調査の結果について

#### (1) 教科に関する調査の成果と課題等について

[小学校]

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語	9.3 問／14 問	67%	10.0 問	3.0
算数	9.9 問／16 問	62%	11.0 問	3.9

[中学校]

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語	8.9 問／15 問	59%	9.0 問	3.4
数学	9.0 問／16 問	56%	9.0 問	4.1

※ 平均正答数：児童生徒の正答数の平均。(正答数の平均／総問題数)

平均正答率：児童生徒の平均正答数を百分率で表示。ただし、小数点以下第1位の数値を公表することで、数値データによる単純な比較が行われ、序列化や過度な競争を助長する一つの要因として考えられることから、文部科学省は都道府県別の平均正答率を整数値で公表。都道府県に対しても同様の配慮を求めていることから、二宮町の平均正答率も小数点以下第1位を切り捨てて表示。

中央値：集団のデータを大きさの順に並べたときに真ん中に位置する値。

標準偏差：集団のデータの平均値からの離れ具合(散らばりの度合い)を表す数値。標準偏差が0とは、ばらつきがない(データの値が全て同じ)ことを意味する。

【小学校国語】

分類		区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
				二宮町	全 国
		全 体	14	67.0	67.7
学習 指導 要領 の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	62.6	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	89.3	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	71.1	74.6
	思考力、判断力、表現力 等	A 話すこと・聞くこと	3	59.2	59.8
		B 書くこと	2	71.7	68.4
		C 読むこと	3	66.8	70.7
評価の観点		知識・技能	6	68.4	69.8
		思考・判断・表現	8	65.2	66.0
		主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式		選択式	10	69.5	69.9
		短答式	2	58.3	59.7
		記述式	2	60.4	64.6

【中学校国語】

分類		区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
				二宮町	全 国
		全 体	15	59.0	58.1
学習 指導 要領 の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	3	57.9	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	59.2	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	79.3	75.6
	思考力、判断力、表現力 等	A 話すこと・聞くこと	3	60.7	58.8
		B 書くこと	2	68.2	65.3
		C 読むこと	4	49.6	47.9
評価の観点		知識・技能	6	61.9	62.0
		思考・判断・表現	9	57.4	55.4
		主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式		選択式	9	63.3	61.0
		短答式	3	61.1	61.8
		記述式	3	45.3	45.5

○平均正答率は、小中学校ともに全国平均程度です。

○「B書くこと」の領域において、小中学校ともに全国平均を上回っています。

●小学校においては、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることについて課題が見られます。

●中学校においては、文脈に即して漢字を正しく書くことについて課題が見られます。

【指導の改善が求められる問題】

	問題 番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
小学 校	3 三	66.3	72.6	【物語】を読んで、心に 残ったところとその理由 をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像し たり、表現の効果を考えたりすることがで きるかどうかをみる
中学 校	3 三	62.6	68.8	漢字を書く(みちたりた)	文脈に即して漢字を正しく書くことがで きるかどうかをみる

【国語の質問項目について】

質問項目	小学校		中学校	
	二宮町	全 国	二宮町	全 国
国語の勉強は好きである。	61.3	62.0	65.0	64.3
国語の勉強は大切だと思う。	94.2	94.5	93.0	93.9
国語の授業の内容は、よく分かる。	84.8	86.3	83.9	82.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	93.7	93.2	90.9	90.6
国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している。	78.0	78.3		
国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている。	80.6	80.0		
国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている。	85.3	83.2		
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している。	85.9	84.4		
国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解している。			78.5	78.7
国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。			83.8	80.5
国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている。			72.0	76.7
国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。			84.5	82.0

○多くの項目で二宮町の結果は全国平均と非常に近い、もしくはそれを若干上回っています。

○「国語の重要性や将来に役立つ。」と回答している小・中学生の割合は非常に高く、小中学校ともに90%以上の児童生徒が大切だと考えています。

○「国語の授業の内容がよく分かる。」と回答している小・中学生の割合は高く、小中学校ともに80%以上の児童生徒が高い理解度を示しています。

○小学校では、読解や文章作成に関する項目で全国平均をやや上回っています。

○中学校では、話し合いを通して考えをまとめている生徒と、説明的な文章を読み目的に応じて要約し内容を解釈している生徒の割合が全国平均をやや上回っています。

●「国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている。」と回答した中学生の割合は、全国平均を下回っています。

【小学校・算数】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
			二宮町	全 国
全 体		16	62.0	63.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	66.5	66.0
	B 図形	4	61.6	66.3
	C 測定	0		
	C 変化と関係	3	49.7	51.7
	D データの活用	4	61.6	61.8
評価の観点	知識・技能	9	73.6	72.8
	思考・判断・表現	7	46.8	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	75.9	75.3
	短答式	7	60.3	62.0
	記述式	4	47.1	51.0

【中学校・数学】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
			二宮町	全 国
全 体		16	56.0	52.5
学習指導要領の領域	A 数と式	5	54.6	51.1
	B 図形	3	44.2	40.3
	C 関数	4	66.0	60.7
	D データの活用	4	56.6	55.5
評価の観点	知識・技能	11	67.4	63.1
	思考・判断・表現	5	30.9	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	64.2	58.5
	短答式	6	70.1	67.0
	記述式	5	30.9	29.3

○平均正答率は、小学校は全国平均程度であり、中学校は 3.5%全国平均を上回っています。

○小学校では、「A数と計算」「Dデータの活用」は全国平均並みです。

○中学校では、「A数と式」「B図形」「C関数」については、全国平均を上回っています。

●小学校では、立方体の体積の求め方を式に表すこと、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することや道のりと時間の関係について考察することについて課題が見られます。

●中学校では、与えられたデータから最頻値を求めることについて課題が見られます。

【指導の改善が求められる問題】

	問題番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
小学校	3(3)	27.8	36.5	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる
	3(4)	60.4	72.0	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる
	4(2)	59.9	70.0	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる
中学校	7(1)	68.0	74.3	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる

【算数（数学）の質問項目について】

質問項目	小学校		中学校	
	二宮町	全 国	二宮町	全 国
算数（数学）の勉強は好きである。	52.4	61.0	61.3	57.2
算数（数学）の勉強は大切だと思う。	92.6	94.6	83.9	87.2
算数（数学）の授業の内容はよく分かる。	76.9	82.1	76.9	75.7
算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。	95.3	94.1	71.5	78.5
算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている。	81.1	77.9	52.6	57.2
算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている。	83.3	83.3	80.6	78.1
算数（数学）の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。	57.6	63.6	36.1	46.0
算数（数学）の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。	80.6	84.6	69.8	77.0

○「数学の勉強が好きである。」と回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。

○「算数の勉強は大切だと思う。」と回答した小学生の割合は、90%以上と高いです。

●「算数の勉強が好きである。」「算数の授業の内容はよく分かる。」と回答した小学生の割合は、全国平均を下回っています。

●「算数（数学）の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。」「算数（数学）の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

今後の対応について

学校に対して、令和6年度全国学力・学習状況調査報告書（文部科学省 国立教育政策研究所 令和6年7月）に記載されている指導アイデア等も参考にして、授業の改善や指導計画に反映させていくことを求めています。 <https://www.nier.go.jp/kaihatu/zenkokugakuryoku.html>（国立教育政策研究所 HP）

### (3) 児童生徒質問紙調査の概況について

#### <生活習慣や学習環境等に関する調査結果> (抜粋)

※数値には、「どちらかといえばしている、どちらかといえば当てはまる、ときどきある」の回答を含む

#### 1. 生活習慣や学習環境等に関する調査結果 (抜粋)

##### (1) 基本的な生活習慣等

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	朝食を毎日食べている。	96.9	93.7	90.9	91.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	88.4	82.9	79.6	80.7
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている。	93.2	91.6	91.4	92.5
4	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。	80.1	82.3	69.9	76.7
5	新聞を読んでいる。(ほぼ毎日と週に1~3回程度)	13.1	11.6	6.5	7.3

#### 【主な特徴と考察について】

○朝食摂取や規則正しい就寝など規則正しい生活を送っている小・中学生の割合は、全国平均と同等、それ以上の良好な状況にあります。特に小学生の基本的な生活習慣は非常に良好です。

●健康に関して学習したこと等を日常生活に活かすことについて、中学生において改善の余地があります。

●小・中学生の新聞を読む習慣については、全国と共に全体的に割合が低く、特に中学生で顕著です。

・引き続き、朝ごはんを摂ることや規則正しい生活を送る良さや習慣づけるよう指導していきたいと考えています。

・保健(体育)の授業では、健康について学ぶ機会があります。授業の中で、普段の生活にどう役立てるかを考える機会を設ける必要があります。

・情報を集める方法として、スマートフォンやタブレットを活用していることが多くなり、新聞を読む習慣が少なくなったと考えられます。

##### (2) 放課後や週末の過ごし方 (複数回答可)

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	家で勉強や読書をしている	48.2	49.3	44.1	46.1
2	放課後子供こども教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している	11.0	5.7	/	/
3	学校の部活動に参加している	/	/	75.8	71.1
4	地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)	6.8	4.4	3.8	3.9
5	学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	28.8	24.4	52.2	38.5
6	習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている	50.3	38.2	24.7	23.6
7	スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている	49.2	46.7	28.0	30.4
8	家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている	80.1	79.1	91.4	88.6

9	家族と過ごしている	64.9	65.6	71.5	68.0
10	友達と遊んでいる	69.6	64.2	66.1	62.3
11	1～10にあてはまるものがない。	1.0	1.3	0.5	1.2

### 【主な特徴と考察】

- 小・中学生の学習塾の利用が全国平均に比べ多く、特に中学生で高い割合です。
- 部活動へ参加する中学生の割合は、全国の平均に比べ多くみられます。
- メディア（テレビや SNS など）利用する中学生の割合は、全国平均を上回っており、90%以上と高い割合です。
- 「友達と遊んでいる」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

### (3) 自己有用感、幸福感等

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	自分には、よいところがあると思う。	85.4	84.1	82.3	83.3
2	将来の夢や目標を持っている。	79.6	82.4	63.4	66.3
3	人の役に立つ人間になりたいと思う。	96.3	95.9	93.0	95.2
4	学校に行くのは楽しい。	82.2	84.8	79.0	83.8
5	普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。	91.1	91.7	90.9	89.8

### 【主な特徴と考察】

○「人の役に立つ人間になりたいと思う。」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。」と回答した小・中学生の割合は、90%以上と高い割合です。

- 「将来の夢や目標を持っている。」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。
- 「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人の役に立つ人間になりたいと思う。」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。」と回答した児童生徒は、学校での委員会活動や係活動、人との関わりなど日頃に「人の役立つことができた」という小さな成功体験の繰り返しが原因の一つと考えられます。</li> <li>・将来の夢や目標が持てるよう、キャリア教育を推進していきたいと考えています。</li> <li>・「学校に行くのは楽しい」と思える学校づくりをするためには、子どもたち一人ひとりの思いに寄り添った対応をし、魅力ある学校づくりを進めていくことが必要であると考えられます。</li> </ul>
--

### (4) 他者、地域や社会とのかかわり等

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	人が困っているときは、進んで助けている。	89.6	92.7	93.5	90.1
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	89.0	89.9	92.5	90.4
3	いじめは、どんな理由があってもいけないと思う。	94.2	96.7	95.7	95.7
4	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	73.3	67.1	57.0	67.5
5	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	80.1	75.8	74.1	76.2

6	友人関係に満足している。	89.5	91.1	85.5	90.1
7	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。	80.6	87.9	80.1	84.9
8	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	91.1	91.6	95.2	92.3
9	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	79.6	83.5	69.4	76.1

### 【主な特徴と考察】

○「人が困っているときは、進んで助けている。」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」「いじめは、どんな理由があってもいけないと思う。」の小・中学生の割合は、およそ90%と高い割合となっています。

●「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。」と回答している中学生の割合は、全国平均を下回っています。

●「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。」と回答している小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

●「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。」と回答している小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のよいところを探すためにも、生徒同士が互いのよさを発見し、認め合うことができる機会を日常的に取り入れられていると考えられます。</li> <li>・生徒が困りごとや不安があった場合には、相談しやすい関係づくりや悩みを発信できるよう指導していくことが大切です。</li> <li>・地域や社会の良さや課題を実感できる機会が必要です。また発達段階も考慮しながら地域の一員としての自覚を育むことが大切です。</li> </ul>
---

### (5) 学習習慣、学習環境等

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	
1	平日に学校以外で、1日あたりどれくらい勉強しているか。	3時間以上	8.4	11.0	19.4	9.2
		2～3時間	14.7	12.5	28.0	22.5
		1～2時間	23.6	31.1	19.9	32.6
		30分～1時間	27.7	27.0	14.0	18.4
		0分～30分	19.4	13.0	9.7	10.4
		まったくしない	6.3	5.3	9.1	6.6
2	休日に学校以外で、1日あたりどれくらい勉強しているか。	3時間以上	7.3	11.6	19.3	15.5
		2～3時間	7.9	9.9	17.7	20.7
		1時間～2時間	26.7	27.1	25.3	26.8
		1時間より少ない	36.6	36.2	23.1	23.1
		まったくしない	21.5	15.1	14.5	13.1
3	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている。	85.4	80.7	79.0	78.6	

### 【主な特徴と考察】

○平日に、「3時間以上」「2～3時間」勉強していると回答している中学生は、全国平均を上回っています。

○休日より平日のほうが、学習時間が多い傾向があります。

●平日、休日ともに勉強を「まったくしない」と回答した小・中学生は、全国平均を上回っています。

●中学生は、長時間学習する生徒と全く学習しない生徒の割合が全国平均より高いです。

- ・学習習慣を身に着けるために、家庭学習の必要性や取り組み方を教えていく必要があります。
- ・学習習慣の差が、学力の二極化につながる可能性があります。

### (6) ICT を活用した学習状況

No	質問項目		小学校		中学校	
			二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか。	(ア)+(イ)	64.4	59.5	94.0	64.4
		ほぼ毎日 (ア)	14.7	25.3	76.3	31.0
		週3回以上(イ)	49.7	34.2	17.7	33.4
		週1回以上	26.7	26.0	3.2	24.6
		月1回以上	7.3	10.3	1.1	7.8
		月1回未満	1.6	4.2	1.6	2.8
2	ICT 機器の活用	自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。	84.3	85.5	87.1	80.2
3		分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。	90.5	92.1	97.3	93.9
4		楽しみながら学習を進めることができる	87.5	86.0	87.1	82.4
5		画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。	87.4	89.8	94.6	89.0
6		自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。	79.6	79.2	77.4	77.7
7		友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。	82.2	86.1	84.4	86.2
8		友達と協力しながら学習を進めることができる。	85.4	87.1	88.7	85.2

○「授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、「週3回以上」と回答した小学生、「ほぼ毎日」と回答した中学生は、全国平均を上回っています。特に中学生については、「週3回以上」と「ほぼ毎日」と回答した合計の割合は、94.0%と高いです。

○ICT の活用方法としては、「分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。」と回答した小・中学生の割合は、90%以上と高いです。

- ・ICT を活用した授業が展開されています。授業の目的に応じて ICT を効果的に使うにはどのようにしたらよいか引き続き研究し、授業改善に努めていく必要があります。

(7) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	86.4	81.9	84.4	80.3
2	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。	81.1	79.6	76.9	75.4
3	自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	85.3	84.3	79.0	80.9
4	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	79.1	80.8	74.7	77.9
5	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う。	84.3	83.7	74.7	79.0
6	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	83.2	81.3	93.5	82.2
7	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	80.1	84.2	89.7	86.3
8	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	80.1	82.5	77.9	80.6
9	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	86.9	88.2	95.1	91.7

主な特徴と考察

○「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

○総合的な学習の時間で情報収集や発表などの学習活動に取り組んでいると回答している小・中学生の割合は、全国平均を上回っており特に中学生の割合は、90%以上と高い割合です。

○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。」と回答している中学生の割合は、全国平均を上回り 95%以上と高い割合です。

- ・総合的な学習の時間や道徳の授業だけではなく、普段の授業から自分で考え話し合う活動を授業に取り入れ授業改善に努めてきました。
- ・今後も小・中学校の9年間の学習を見通して、小・中学校の先生でカリキュラム開発に努めます。

(8) 英語について

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	英語の勉強は好きである。	71.2	69.3		
2	英語の勉強は大切だと思う。	95.3	92.1		
3	英語の授業の内容はよく分かる。	80.1	78.3		
4	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。			89.3	83.3

5	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。			89.8	85.6
6	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う。			79.6	68.8
7	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う。			86.5	82.4
8	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思う。			90.3	85.7

### 主な特徴と考察

○小・中学生ともに各項目について全国平均を上回る成果を上げています。

○中学校では、即興で英語を使う活動やまとまった内容を英語で発表する活動が多く設定されています。

○小学校での英語学習に対する肯定的な態度が、中学校での積極的な英語学習活動につながっていると考えられます。

・小学校と中学校の教員と一緒に英語研修会に参加し、授業改善に向けて話し合いを重ねています。また、互いの校種でどのように英語の授業を行っているかを把握することで、小・中学校での英語教育のつながりを意識して授業をしてきました。今後も小・中学校間の連携を意識して、英語の授業改善に努めていきます。

### 4. 本町の児童生徒質問紙調査と教科に関する調査のクロス集計結果

本町の児童生徒質問紙調査の結果と教科に関する調査結果との関係を見ると、次のように回答した本町の児童生徒が、教科（国語、算数・数学）の正答率が高い傾向が見られました。

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の役に立つ人間になりたいと思う。</li> <li>・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。</li> <li>・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。</li> <li>・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。</li> <li>・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。</li> <li>・国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している。</li> <li>・国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている。</li> <li>・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。</li> <li>・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。</li> <li>・国語の授業の内容は、よく分かる。</li> <li>・国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。</li> <li>・数学の授業の内容はよく分かる。</li> </ul>

## 5 今後に向けて

二宮町教育委員会では、本調査の結果の分析を行い、その結果を各学校に示しました。各学校では課題を明らかにして授業改善や学校経営に反映させています。

今後も、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努め、より効果的なカリキュラムマネジメントが行われるよう教育委員会は各学校を支援していきます。

本調査を通じて、基本的な生活習慣や学習習慣の確立、地域社会との関わりは学力向上及び児童生徒の健全育成に大切であることを改めて確認いたしました。小・中学校が9年間を見据え共通性と一貫性のある指導支援に取り組んでいきます。また、二宮町内のすべての小・中学校がコミュニティ・スクールになっています。コミュニティ・スクールとして学校、家庭、地域との協働をより一層充実させて効果的な教育活動を進めてまいります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。